

Bellflower



# 神戸薬科大学 図書館ニュース

No.37 2007. 4



## Part 1 (新着資料から)

### 雑誌 『韓国語ジャーナル』 (CD付き)

(アルク)

2002年日韓サッカー - World Cupの年に誕生したこの雑誌は、時代のニ - ズの産物であるだけに、韓国語学習者のための情報・知識を満載してある。韓国の芸能界・スポ - ツ界での有名人のInterviewをはじめとし、Special Feature・Study・Culture・Voice of KJの五つの部分から構成されている。具体的な特徴としては、一つは、韓国語の音韻と発音・文法・語彙および慣用表現・会話・作文(ハングルでのEメールの書き方、手紙、日記など)の詳細な説明が行われている。今一つは、韓国の政治・経済・文化を知るための情報が充実している。たとえば、韓国の歴史の足跡が刻まれた町の紹介や、いろんな世代の価値観、特に20代(大学生)に関する事情

現在流行している言葉、ファッション、交友関係、レジャー、マナ - 等の興味深い話題でいっぱいである。そのほか韓国の料理・祭日・風習に関しても取り上げており、実に幅広い分野を視線に入れたマガジンだと言えよう。CDに収録された音声のコンテンツ、たとえばNHK国際放送のアナウンサーをはじめ、俳優や歌手、スポ - ツマン及び町の人々の生の韓国語の音声を、スクリプトを見ながら耳で楽しむこともできる。このように、韓国の文化を知りながら、韓国語を学習すると、もっと楽しくなるだろう。

金 錦花 記

### DVD 『目で見える医学の基礎 第2版』

(医学映像教育センター 2007 全13巻)

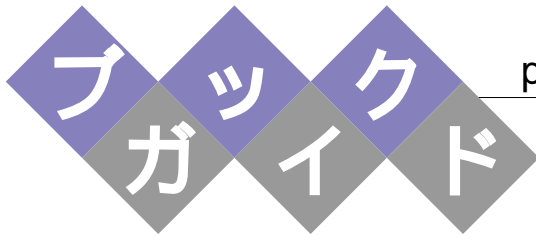
今回紹介する「目で見える医学の基礎 第2版」は、器官系別に、解剖・生理・病態の基礎的な知識を、映像とCGアニメーションにより、わかりやすく解説したものである。現在、刊行中の第一巻「細胞と組織」は人体の構成単位である細胞、細胞の基本構造である細胞膜・ミトコンドリア・小胞体・ゴルジ装置・細胞骨格・核などの構造と働きについて、そして細胞の生活減少である細胞分裂と細胞の死、細胞周期の異常によって生じる腫瘍について、さらに形と働きの似た細胞が集まった組織、組織が集まって機能を持った器官について解説されている。第二巻「神経系」は、身体を統合する神経系、神経系を構成する神経細胞やその働きを助けるいろいろな支

持細胞、神経系の発生と区分、脳と脊髄を包む軟膜・くも膜・硬膜の構造と機能、脳の血管、情報の伝達と処理のしくみ、運動や感覚の伝導路、大脳基底核や小脳の働き、そして自律神経系の働きなどについて解説されている。その他、「循環器系」「呼吸器系」「骨格・筋肉系」「消化器系」「泌尿器系」「生殖器系」「内分泌系」「血液」「皮膚・感覚器系」「感染」「免疫系」など、製作中のものを含め全13巻のシリーズである。自主学習用としても優れた視聴覚教材である。本シリーズをフルに活用していただきたい。

八木 敬子 記

## もくじ CONTENTS

ブックガイド(新着資料から) 金錦花・八木敬子.....1	グラフと表で見る図書館統計 .....6~7
ブックガイドpart2(専門分野別) 上田久美子.....2	薬剤師のためのDI資料(20) 長嶺幸子 .....8
読書マラソン参加者募集!! .....3	2007年度学術雑誌について.....8
受入図書から .....4~5	お知らせ.....8


 part 2 (専門分野別)  
 BOOK GUIDE

## “薬剤師とチーム医療の本”

 上田 久美子  
 (薬剤学研究室 講師)


近年の医療現場では、医師、薬剤師、看護師、その他の医療スタッフで連携をとって患者を治療する「チーム医療」が欠かせないものとなっています。4年次生配当科目「病院・薬局実習」のレポートを読んでいても、多くの学生がチーム医療の重要性を肌で感じているのがよくわかります。

ところで、「チーム医療」とは一体何なのでしょう。薬学生用の入門書としては、土田明彦他編著「チーム医療：薬剤師の果たすべき専門性」(保健同人社)があります。医療全体についての概説のあと、チーム医療が盛んに行われている医療安全、癌化学療法などの分野で薬剤師が知っておくべき具体的な情報が得られます。概略を知りたい方は、ファルマシア42巻11号の特集(土田明彦「チーム医療：医師からみた薬剤師」、寺地順子「チーム医療：看護師からみた薬剤師の役割」、宮崎美子「チーム医療における薬剤師の役割」、岩月進「在宅医療と薬剤師」)もおすすめです。全てを網羅しているわけではありませんが、短いので手軽に読めます。

現在組まれている各「チーム」の詳細については、山田幸男著「糖尿病チーム医療の実際：患者さんと共に歩む」(メディカ出版)、武田英二他著「栄養管理のチーム医療：急性および慢性疾患に対するNST」(文光堂)、富俊明他監修「肝臓病のチーム医療と栄養療法：患者さんと医療スタッフのために」(メディカルレビュー社)、野坂達志他著「精神科援助職のためのチーム医療読本：孤立を防ぐ」(金剛出版)、日本炎症性腸疾患協会編「IBDチーム医療ハンドブック：潰瘍性大腸炎・クローン病患者を支援するために」(文光堂)、浅利誠志著「MRSA消毒・除菌と治療：チーム医療で退治できるMRSA」(最新医学社)などがあります。チーム医療に必要な知識や、それぞれの医療スタッフの役割などが記載され、1冊でまとまった情報が得られます。チーム医療立ち上げ過程の報告例として、福井県済生会病院編「チーム医療でとりくむクリニカルパス」

(メディカ出版)、薬剤師の活躍例としては、乾賢一監修「薬剤師が変える薬物治療：病院薬剤部から：医薬品適正使用症例集」(じほう)もおすすめです。さらに、佐藤健次他著「健康食品の基礎知識：チーム医療担当者必携：95の演習問題と解答・解説」(じほう)、安珠著「アロマテラピーとチーム医療」(東京堂出版)も押さえておきたいところです。

これら「チーム医療」に参加するにあたり、臨床の知識は欠かせません。そのためには、井村裕夫編「わかりやすい内科学」(文光堂)、渡辺決他編「チーム医療従事者のための臨床医学全科」(金芳堂)が良いと思います。前者はコメディカル向けの医学書として定評があり、後者は内科以外の診療科についての記述も多く、参考になります。

チーム医療に必要なのは、知識だけではありません。医療スタッフ間でのコミュニケーションが不可欠です。「チーム医療」の根本が知りたい、という方には、鷹野和美編著「チーム医療論」(医歯薬出版)、細田満和子著「「チーム医療」の理念と現実」(日本看護協会出版会)を読んでいただければと思います。チーム医療の背景や歴史などが論じられており、他の医療スタッフとのコミュニケーションの重要性が説かれています。チームなどの特定の「チーム」を組んでいなくても、患者様を他の医療スタッフと協力して治療・ケアすること自体が、既に「チーム医療」なのです。

患者様や他の医療スタッフとのコミュニケーションのとり方に関しては、井部俊子監修「患者は医療チームの一員という考えの実践：看護が考えるべきことすべきこと」(日本看護協会出版会)が参考になります。看護師向けの本ですが、薬剤師にも通じるところはたくさんあります。また、神戸薬科大学図書館ニュースNo.35(2006.4発行)の平井教授によるブックガイド「薬剤師に必要なコミュニケーションスキル」にも、良書が紹介されています。是非ご再読下さい。

## 読書マラソン参加者募集 !!

2007年4月からスタートします。



現在、読書推進運動のひとつとして大学生協が全国的に取り組んでいる「読書マラソン」運動をご存知でしょうか？  
今春より、**当館も本学の大学生協とタイアップ**し、本学流にアレンジしてこの運動を取り入れることになりました。皆さん、奮ってご参加ください。

読書マラソンって？

**100冊読破を目指そう！ 皆に本を紹介し、感動を伝えよう！**

という企画のことです。

- 本学の学生、院生、教職員・・・貸出資格のある方ならどなたでも参加していただけます。 -

### 参加方法

#### まずはエントリー

エントリーカードに必要事項を記入し、図書館または生協へ提出してください。

POP（感想）カードとスタンプカードをお渡しします。

#### 本を読みます

教科書、指定参考書、雑誌、コミック、新聞、視聴覚資料などは対象外。

図書館に所蔵していなくても、生協で購入した本でなくてもOK！

#### POP（感想）カードを提出

POP（感想）カードに100字程度の感想を書いて図書館へ提出してください。

カードを出す毎に、スタンプカードにスタンプを1個押印します。

#### スタンプをためて、プレゼントをゲット！

スタンプが10個たまれば、薬大生協購買部で使える**生協利用券**がもらえます。

**50冊・100冊読破時**には、図書館より、記念品（お楽しみ！）を差し上げます。

**全国「読書マラソン」コメント大賞**（年1回10月生協主催／朝日新聞紙上発表）

への応募ができます。窓口は生協です。入賞すればご褒美あり！！

\*\*\* POP（感想）カードは、図書館内や生協店舗内に掲示をします。

また、ホームページや広報物に掲載する場合がありますので、ご了承ください。

なお、掲載はペンネームのみとします。\*\*\*

詳しくは図書館3階カウンターまで

書名	著者名	出版社
学会出席・研究留学のための理科系の英会話 改訂版	廣岡慶彦	ジャパンタイムズ
痛快化学史	渡辺正他訳	朝倉書店
Gaussianプログラムで学ぶ情報化学・計算化学実験	堀憲次他	丸善
化学英語のスタイルガイド	松永義夫編著	朝倉書店
これだけは知っておきたい化学実験セーフティガイド	日本化学会編	化学同人
Q&Aでわかる液クロマトグラフィー	長谷川秀夫	丸善
人名反応に学ぶ有機合成戦略	富岡清監訳	化学同人
研究室で役立つ有機実験のナビゲーター	上村明男訳	丸善
よくわかる有機化学の基本と仕組み	木原伸浩	秀和システム
カロテノイド：その多様性と生理活性	高市真一編	裳華房
黄砂：その謎を追う	岩坂泰信	紀伊國屋書店
最適な実験を行うためのバイオ実験の原理	大藤道衛	羊土社
はじめて出会う細胞の分子生物学	伊藤明夫	岩波書店
薬剤師・薬学生のための実践医療コミュニケーション学Q&A	町田いづみ	じほう
薬剤師のためのファーマシューティカルコーチング	大沢光司	じほう
ライフサイエンス英語類語使い分け辞典	河本健編	羊土社
薬学で学ぶ病態生化学	林秀徳他編著	朝倉書店
第一線医師・研修医・コメディカルのための新・輸液ガイド	Medical Practice編集委員会	文光堂
アロマテラピーとチーム医療	安珠著	東京堂出版
医療禁忌診療科別マニュアル	富野康日己総編	医歯薬出版
やさしいメタボリックシンドロームの自己管理 改訂版	松澤佑次監修	医薬ジャーナル社
花粉症の科学 新版	斎藤洋三他	化学同人
狂気の偽装：精神科医の臨床報告	岩波明	新潮社
感染爆発：鳥インフルエンザの脅威	柴田裕他訳	紀伊國屋書店
がん疼痛緩和ケアQ&A	加賀谷肇監修・編	じほう
医療崩壊：「立ち去り型サボタージュ」とは何か	小松秀樹	朝日新聞社
患者の声を医療に生かす	大熊由紀子他編著	医学書院
調剤室から消えた薬剤師	葛西美恵編著	ドラッグマガジン
患者の安全を守る	井部俊子監訳	日本評論社
NST活動実践集	日総研グループ編	日総研出版
医療従事者のためのEBMサプリメント事典	蒲原聖可	医学出版社
サプリメントエビデンスブック	久保明	じほう
健康食品のすべて	田中平三他監訳	同文書院
アスベスト汚染と健康被害 第2版	森永謙二編著	日本評論社
チーム医療	土田明彦他編著	保健同人社
調剤薬局運営パーフェクトマニュアル	アインファーマシーズ編	日経BP社
病棟で役立つ混注情報ハンドブック 増補改訂版	厚生年金病院混注研究会編	医薬ジャーナル社
薬学生・薬剤師のための知っておきたい一般用医薬品	日本薬学会編	東京化学同人
スキルアップのためのおくすり相談Q&A101～200	静岡県薬剤師会編	南山堂
症状別チェック式OTC薬の選び方・使い方	武政文彦他編著	じほう
ジェネリック医薬品採用マニュアル	富山県厚生部くすり政策課編	薬事日報社
くすりギャップ	津谷喜一郎編	ライフサイエンス出版
ジェネリック医薬品導入ガイドブック	上野和行他編著	じほう
医薬品・食品相互作用ハンドブック	堀美智子監修・編	じほう
実学的創薬研究概論	勝部純基	薬事日報社
論理的創薬入門	桑田一夫編著	共立出版
医薬品の臨床試験とCRC 改訂版	日本薬剤師研修センター監修	薬事日報社
CRCのための治験支援業務ガイド	折井孝男他編	南山堂
医薬品開発戦略	杉山雄一他編	廣川書店
注射薬配合変化Q&A	阿南節子編著	じほう

(化学、医学、薬学分野より一部抜粋)



## 『生かされて。』

イマキュレー・イリバギザ、スティーヴ・アーウィン著 PHP研究所

1994年中央アフリカのルワンダで、民族間の紛争により100万人を超える大量虐殺が行われた。その時小さなクローゼットほどのトイレの中で8人の女性が3ヶ月隠れていて助かった。その1人の女性の手記である。彼女は6人家族の兄1人を除いて他の家族全員が殺された。その状況の凄まじさより、彼女がそのトイレの中で何を考え、その後解放されたから、どのように生きようとしたか、その方が感動的である。読み終わって、何かさわやかさを感じるすてきな本である。

(MS)

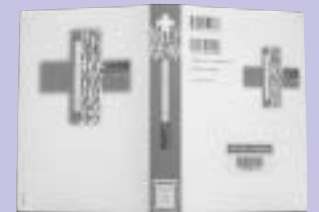


## 『医療崩壊 - 「立ち去り型サボタージュ」とは何か』

小松 秀樹著 朝日新聞社

「小児科医や産科医のなり手が激減」「産科医が激務改善を求めて県を提訴」といった新聞記事が最近特に目立ちます。このような背景で何が起きているのか。このままで本当に日本の医療は大丈夫なのか。虎の門病院泌尿器科部長の著者が医療の内部から医療崩壊の実態とその原因を告発していて、説得力があります。医療関係者だけでなく一般の人々にも是非読んでもらいたい本の一つです。

(J.M.)



## 『痛快化学史』

アーサー・グリーンバーグ著 渡辺 正、久村 典子訳 朝倉書店

近代化学の父といわれる人は、フランス革命政府によってギロチンに掛けられた。彼に関するエピソードは、本書のほぼ真ん中に当たる第5章中の「恋におちたラヴォアジエ」の節で取り上げられている。このことからわかるように、本書は、「近代化学」以前の、すなわち「錬金術」の時代にも多くの紙数を割いた、茶飲み話、酒飲み話、突っ込み所満載の裏話集。お堅い授業に飽きたら、どうぞ。

(K.H.)

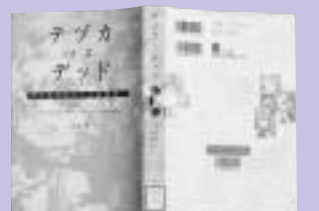


## 『テヅカ イズ デッド - ひらかれたマンガ表現論へ -』

伊藤 剛著 NTT出版

「漫画文化が衰退している」という種類の言説を聞いた事はないだろうか？そして、それを信じている人もいるのでは無いだろうか？しかし、その裏側で『One Piece』のような爆発的なセールスを誇る漫画が存在し、昨今はドラマ原作としても注目されている。何故言説と現実の間にズレがあるのか。その原因を漫画表現の歴史、という切り口で探っている。漫画が何よりも好きな方に。

(BOB)



## 『半 落 ち』

横山 秀夫著 講談社

アルツハイマー病の妻を殺害した警察官が自首するまでの2日間の空白。罪は認めるが、空白については頑なに口を閉ざす「半落ち」の状態。刑事、検察官、新聞記者、弁護士、裁判官、刑務官がそれぞれの立場からこの闇に迫ろうとするが...

どの登場人物も自分の実生活に苦しんでいるのが、真実追究と共に興味深い点でした。綺麗事だけではない社会で自分が誰の為に生きているのかを考えさせる作品です。

(S.T)



## 『クマムシ?! 小さな怪物』

鈴木 忠著 岩波書店

高温、高压、放射線に耐え、電子レンジでチンしても大丈夫な生物ってホントにいるのだろうか・・・信じられない思いで本を開くと、そこにはクマムシの不思議な世界がありました。餌の心配をしながら、小さくてかわいいクマムシを一生涯懸命育てようとする著者の姿がほほえましくて、思わず、幼い頃に関わった生き物たちとの思い出が蘇りました。生物研究のおもしろさを感じさせてくれる1冊です。

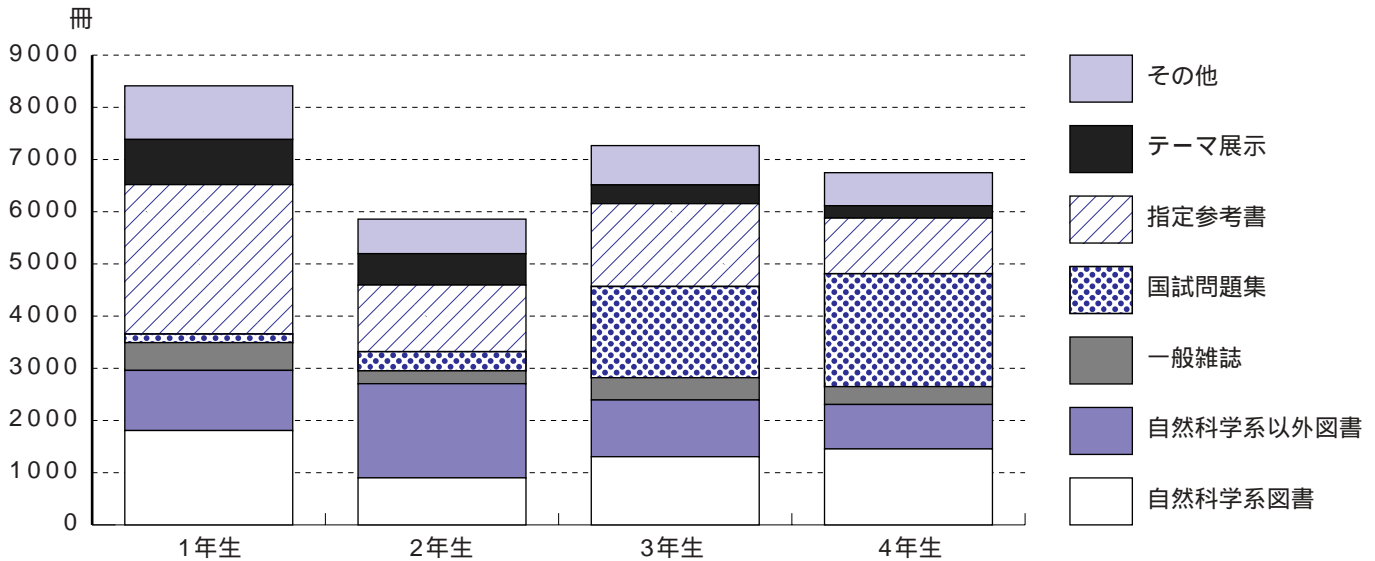
(N)



## グラフと表で見る図書館統計

### 1 貸出冊数比較(2001年4月1日～2006年12月31日)

2001年4月1日から2006年12月31日までの5年9ヶ月の分類別貸出冊数を学年別に比較しました。1年生の貸出が最も多く、指定参考書、テーマ展示、自然科学系図書が多く貸出されています。2年生の貸出は一番少なくなっていますが、自然科学系以外の図書の貸出が多く、これは総合文化演習が2年生に担当されていることを反映していると考えられます。3、4年生では国家試験問題集の貸出が多くなっていることがわかります。



### 2 資料別貸出頻度統計(2001年4月1日～2006年12月31日)

2001年4月1日から2006年12月31日までの貸出頻度上位(全利用者による貸出)を一般図書(備品)と指定参考書に分けて示しました。一般図書では、ベストセラーものが上位を占めました。指定参考書は複数冊整備していますので、( )内に冊数を表示しましたが、新有機化学・スタディガイドが、非常に活用されていることがわかります。

回数	一般図書(備品)	回数(冊数)	指定参考書
51	ハリー・ポッターと賢者の石	547 (7)	新有機化学・スタディガイド 第7版
50	NEW生化学	304 (5)	新有機化学・問題の解き方 第4版
46	ハリー・ポッターとアズカバンの囚人	207 (5)	ソロモンの新有機化学 第7版 上
44	模倣犯: The copy cat 上	148 (5)	分析化学 改訂第5版 1
44	インストール	146 (6)	ケミストリー: 図説とデータ
42	ハリー・ポッターと秘密の部屋	136 (5)	疾患別薬理学 第4版
40	海辺のカフカ 上	126 (5)	定量分析化学 第5版
37	免疫 第2版(実験医学 別冊)	119 (5)	ソロモンの新有機化学 第7版 下
37	模倣犯: The copy cat 下	116 (5)	新編物理学
36	ハリー・ポッターと炎のゴブレット 上	116 (5)	定量薬品分析 第7改稿版
34	世界の中心で、愛をさけぶ	109 (5)	マスコミに見る化学
33	東京タワー	108 (5)	ボルハルト・ショア現代有機化学 第4版 上
33	海辺のカフカ 下	106 (4)	化学英語の活用辞典: 第2版
32	わかりやすい薬学英語	105 (10)	溶液の化学と濃度計算: 演習
32	ダ・ヴィンチ・コード 上	98 (6)	薬理学テキスト 第4版
31	ダ・ヴィンチ・コード 下	97 (19)	衛生試験法・要説

## 3 学生貸出者割合

学部学生が貸出をしている割合をまとめました。学年にかかわらず、1年間で、在籍者の半分以上が貸出をしていることがわかります。4年間を通しての統計では、2005年度4年生は在籍者の91%、2004年度4年生は在籍者の94%の学生が卒業までに1回以上の貸出をしていることになります。

2005年度				2004年度			
学年	在籍者数	貸出者数	貸出者割合	学年	在籍者数	貸出者数	貸出者割合
1年生	288名	173名	60%	1年生	309名	167名	54%
2年生	302名	162名	54%	2年生	275名	162名	59%
3年生	278名	140名	50%	3年生	283名	152名	54%
4年生	271名	139名	51%	4年生	307名	202名	66%
合計	1139名	614名	54%	合計	1174名	683名	58%

2005年度4年在籍者が2002年度から2005年度の4年間で貸出を行った割合	91%
2004年度4年在籍者が2001年度から2004年度の4年間で貸出を行った割合	94%

## 4 2006年資料別貸出頻度統計：学部学生

2006年の貸出頻度上位を示しました。英語関連や問題集の利用も多いです。

指定参考書は複数冊整備しているので、貸出平均回数を用いました。

回数	資料名	貸出区分
17	薬剤師国家試験対策参考書 2005年度版 2 基礎薬学Ⅱ(青本)	一般
16	はじめてのチャレンジTOEIC Test大特訓プログラム	一般
15	30日完成TOEICテストリスニングpart 2・3の解法	一般
15	クイックマスター：薬剤師国家試験対策 2005年版 医療薬学Ⅰ	一般
15	必修講座 薬剤師国試対策：新ガイドライン/ 2006年版 3 医療薬学(Ⅰ)	一般
15	薬剤師国家試験対策参考書 2006年度版 5 医療薬学Ⅰ(青本)	一般
15	ソロモンの新有機化学 第7版 上	指定参考書
14	TOEIC Test730点突破大特訓(CD book)	一般
14	東京タワー：オカンとボクと、時々、オトン	一般
14	物理化学 上(生命薬学テキストシリーズ)	一般
14	新有機化学・スタディガイド 第7版	指定参考書
13	TOEIC TEST文法別問題集：200点upを狙う780問	一般
13	ハリー・ポッターと謎のプリンス 下	一般
13	陰日向に咲く	一般
13	薬ゼミの要点集 2005年版 医療薬学Ⅱ(薬剤師国家試験対策要点集)	一般
13	薬剤師国家試験対策 2006年度版 5 医療薬学(Ⅰ)(黒本)	一般
13	容疑者Xの献身	一般
12	TOEIC Test プラス・マガジン 3巻2号	一般雑誌
12	ハリー・ポッターと謎のプリンス 上	一般
12	必修講座 薬剤師国試対策：新ガイドライン/ 2006年版 4 医療薬学(Ⅱ)	一般
12	薬剤学 第3版 1	一般
12	薬剤師国家試験対策 2006年度版 1 基礎薬学(Ⅰ)(黒本)	一般

## 薬剤師のためのDI資料 20

### 『今日のサプリメント』

丁 宗鐵、佐竹 元吉 編集  
南山堂 2006

本書は、医療の専門家が患者さん(消費者)からサプリメントに関する相談を受けた時や、使用している患者さんに適切なアドバイスをする場合に参考書として活用することを目的としている。

本書は総論、疾患、成分の3部構成になっている。疾患の項では、主訴、主症状から選択するサプリメントに始まって、精神・神経疾患、呼吸器疾患、循環器疾患と代表的な疾患は網羅されており、その他小児へのサプリメント、高齢者への

サプリメント、がんといった項目もある。各項目では、疾患の概論、一般的な治療法とサプリメントの役割について、文献に基づいて解説されており、患者さんへのアドバイスに非常に役立つと考えられる。その他付録には特定保健用食品について効能別に一覧表示されている。

また最新の情報(安全性や有効性、相互作用など)を取り入れるため、2年に一度全面改訂が行われる予定である。

長嶺 幸子 記

### 2007年度学術雑誌について

#### 電子ジャーナルのみへ移行

Analyst (GB)  
Archives of Biochemistry and Biophysics (US)  
Biochimica et Biophysica Acta - General Subjects (NL)  
Clinica Chimica Acta (NL)  
Dalton Transaction (GB)  
Endocrinology (US)  
European Journal of Inorganic Chemistry (DE)  
European Journal of Pharmacology (NL)  
FASEB Journal (US)  
FEBS Letters (NL)  
Journal of Agricultural and Food Chemistry (US)  
Journal of Cell Biology (US)  
Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism (US)  
Journal of Controlled Release (NL)  
Journal of Endocrinology (GB)  
Journal of Nutrition (US)  
Journal of Physical Chemistry A and B (US)  
Journal of Steroid Biochemistry and Molecular Biology (GB)  
Steroids (US)  
Trends in Biochemical Sciences (NL)

#### 利用形態の契約変更

Journal of Pharmacy and Pharmacology:Print Only からPrint+EJ 契約へ変更

Nature電子ジャーナル:One User 契約からアクセス数無制限契約へ変更

薬図協電子ジャーナルコンソーシアム参加  
American Chemical Society( 継続 )  
Blackwell( 継続 )  
InterScience( 継続 )  
Oxford University Press( 継続 )  
Rockefeller University Press (新規)  
Royal Society of Chemistry (新規)  
Science Online( 継続 )  
ScienceDirect( 継続 )  
SpringerLink( 継続 )

#### 和雑誌の購読中止

Journal of Computer Chemistry, Japan  
情報管理

#### シリーズ図書の購読中止

Advances in Drug Research  
Advances in Pharmaceutical Sciences  
Cold Spring Harbor Symposia on Quantitative Biology  
Comprehensive Biochemistry  
New Comprehensive Biochemistry

#### 新規購読シリーズ図書

Annual review of immunology

#### お知らせ

今年度は、現行の図書館システムを次世代のシステムへ更新します。更新工事は夏季休暇中を予定しています。それと並行して、館内各所の備品入れ替え作業も実施する予定です。より良い図書館として利用していただけるように、ご意見などが有りましたら図書館へお申し出ください。図書館利用時の飲食や席取りの禁止など、マナーの向上にご協力ください。

神戸薬科大学図書館ニュース No.37

編集・発行 神戸薬科大学図書館

2007年(平成19年)4月1日発行

神戸市東灘区本山北町4丁目19番1号(〒658-8558)

TEL(078)441-7512 FAX(078)435-2080

URL <http://www.kobepharma-u.ac.jp/library>